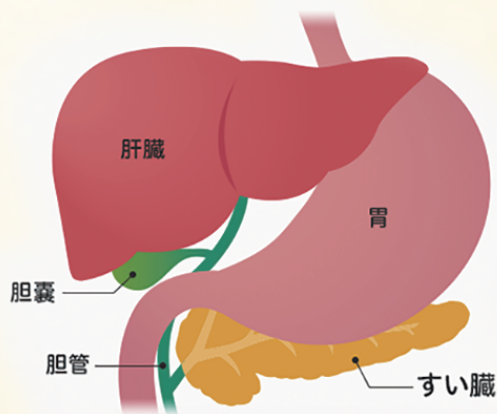


すい臓とは

すい臓は、体の中心部に位置し、前から見ると胃の後ろに位置しています。長さ15～20cm・厚み2cm程度で、淡黄色でふわふわと柔らかく、とうもろこしを横にしたような形をしています。

すい臓は重要な臓器



すい臓は、食べ物を消化する「すい液（消化液）」を産生し、十二指腸に送り出す（外分泌）ことと、血液中の糖分量を調節するインスリン、グルカゴン、ホルモンの調整をするソマトスタチン等のホルモンを分泌する（内分泌）という2つの働きを持つ、極めて重要な臓器のひとつです。インスリンの分泌が減ると、糖尿病の危険性が高まることが知られています。

すい臓が関与する重要な機能

食べた物を
消化する

糖をエネルギー
に変える

血糖値を
調整する

すい臓がんになりやすい人

すい臓がんの原因はまだはっきりわかっておりませんが、以下のようなものがリスク因子として考えられています。

✓ Check List

☐ ご家族にすい臓がんの方がいる

ご自分の病気

☐ 糖尿病

☐ 肥満

☐ すい石症

☐ すいのう胞

☐ 慢性すい炎

☐ すい管内乳頭粘液性腫瘍

嗜好・生活習慣

☐ 喫煙

☐ 大量飲酒



このようなリスク因子をお持ちの方は、
定期的なテオリア検査™の受検をお勧めいたします。
リスクを知って、早期発見につなげましょう。

医療機関名

テオリア検査™は、テオリアサイエンス株式会社が提供する検査です。テオリアサイエンスは、エクソソーム研究の第一人者である落谷孝広教授を創業メンバーとして、2012年設立されました。世界最先端のエクソソーム研究の成果を活かし、がんの早期発見と治療法の開発を目指しています。

すい臓がんの 早期リスク判定検査 テオリア検査™

血液検査
でできる

早期リスク判定検査で
早期発見につなげませんか？

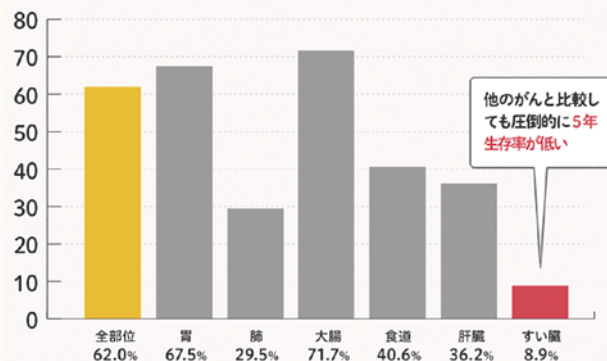


すい臓がん

■ 5年生存率が低い

すい臓がんは、**5年生存率（5年後も生存している割合）がもっとも低いがん**です。日本では、2013年以降毎年3万人以上の方がすい臓がんで亡くなり、その数は毎年数%ずつ増えています（国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（人口動態統計））。

5年生存率



※出典：がん研究振興財団 がんの統計'19

■ 早期発見が困難

すい臓がんは、**早期では自覚症状が現れにくく**、症状を自覚し始めるころには、すでにがんが進行した状態になっていることも少なくありません。

■ 定期的な検査が重要

すい臓がん治療において、**早期発見は非常に重要なポイント**となります。

すい臓がんは、自覚症状が出はじめてから検査を受けたのでは手遅れになることが少なからずあり、がんが小さいうちに発見できるよう、**普段から定期的な検査を受けることが推奨されています。**

早期発見のために

すい臓がんの早期リスク判定

テオリア検査™

すい臓がんは早期発見が重要です。テオリア検査™は、画像診断などで見つけにくい超早期のすい臓がんリスクを**血液検査で判定できます。**

テオリア検査™とは

■ 「エクソソーム」を使った新しい検査

エクソソームは、細胞内の情報を運ぶ小さい袋のようなものです。その中の情報を読み取ることで、細胞の状態を知ることができます。がん細胞はごく初期からがん細胞特有の情報を有しており、それを測定することにより、早い段階でその存在を知ることができます。

わずかな血液で判定できます

血液中からがん固有のエクソソームを検出する



正常なエクソソーム



がんのエクソソーム

■ 現在のすい臓がんの罹患リスクを判定

現在、すい臓がん罹患している可能性が高いかどうかを判定します。

■ より良い検査を目指しています

テオリア検査™は、様々な研究から早期すい臓がんのリスク判定の有効性を確認しておりますが、より良い検査となるよう、現在臨床症例を集め、順次データを反映し改善しつづけております。

テオリア検査™の受け方



採血のみ

通常の検診と同様に、末梢静脈血を**数mL採血するだけで検査ができます。**



テオリア検査™でわかること

エクソソーム由来の、すい臓がんのリスクマーカーを測定します。健常人の平均と比べて高い場合は高リスク、同程度の場合は低リスクと解釈できます。

高リスク（健常人と比べて高い）

➡ すい臓がん罹患しているリスクが健常人と比べて現在高いことを示していますが、がん罹患しているとは限りません。

高リスクの場合、がん罹患している可能性が健常人よりも高いため、今後の健康管理につきまして、医師とよくご相談されることをお勧めいたします。

低リスク（健常人と比べて同程度）

➡ すい臓がん罹患しているリスクが健常人と同程度であることを示していますが、まったくがん細胞が存在していないということではありません。

現在のリスクを調べる検査のため、定期的に検査を実施し、健康管理に役立てることをお勧めいたします。

※テオリア検査™は保険適用外の検査です。この検査だけで診断することを目的としたものではありません。



消化器とは

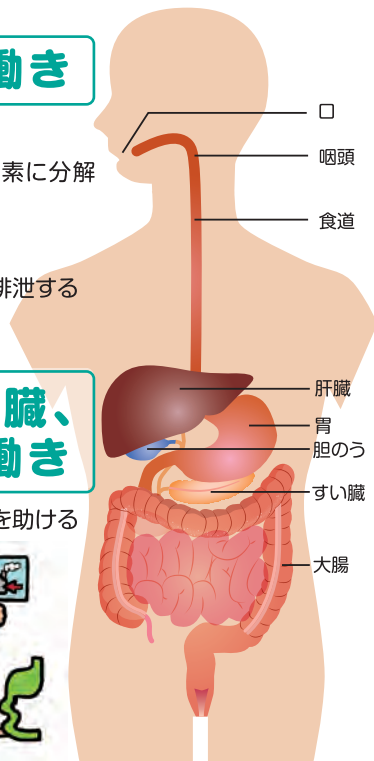
消化器は口から肛門まで続く器官で、口、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肛門で構成される消化管と、消化管の外側に位置しているすい臓、肝臓、胆のうから構成されます。

消化管の働き

1. 食物を摂取する
2. 摂取した食物を栄養素に分解する
3. 栄養素を吸収する
4. 消化できないものを排泄する

すい臓、肝臓、胆のうの働き

主に栄養素の消化・吸収を助ける



テオリアの消化器がんの早期リスク判定検査

数mLの採血だけで一度に以下の5種類の消化器がんの罹患リスクを調べることができます。ただし、どの部位のがんなのかは判別できません。

胃がん

食道がん

大腸がん

胆のうがん

肝臓がん

本検査ではすい臓がんは対象に含みません。

消化器がんになりやすい人

消化器がんの原因はまだはっきりわかっておりませんが、以下のようなものがリスク因子として考えられています。

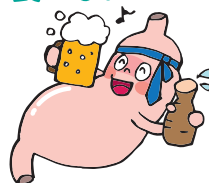
✓ Check List

ご自分の病気

- ☐ ピロリ菌感染
- ☐ 大腸ポリープ
- ☐ B型・C型肝炎ウイルス感染
- ☐ 非アルコール性脂肪性肝障害
- ☐ 胆のう結石
- ☐ 膵・胆管合流異常
- ☐ 胆のう腺筋腫症

嗜好・生活習慣

- ☐ 喫煙
- ☐ 大量飲酒
- ☐ 肥満
- ☐ 野菜をあまり食べない



このようなリスク因子をお持ちの方は、定期的なテオリア検査™の受検をお勧めいたします。
リスクを知って、早期発見につなげましょう。

医療機関名

テオリア検査™は、テオリアサイエンス株式会社が提供する検査です。テオリアサイエンスは、エクソソーム研究の第一人者である落谷孝広教授を創業メンバーとして、2012年設立されました。世界最先端のエクソソーム研究の成果を活かし、がんの早期発見と治療法の開発を目指しています。

C104-1

消化器がんの早期リスク判定検査

テオリア検査™

1度に5種類の消化器がん(食道、胃、大腸、胆のう、肝臓)のリスク判定ができます！



血液検査でできる

早期リスク判定検査で

早期発見に

つなげませんか？





消化器がん

2人に1人
心配だわ

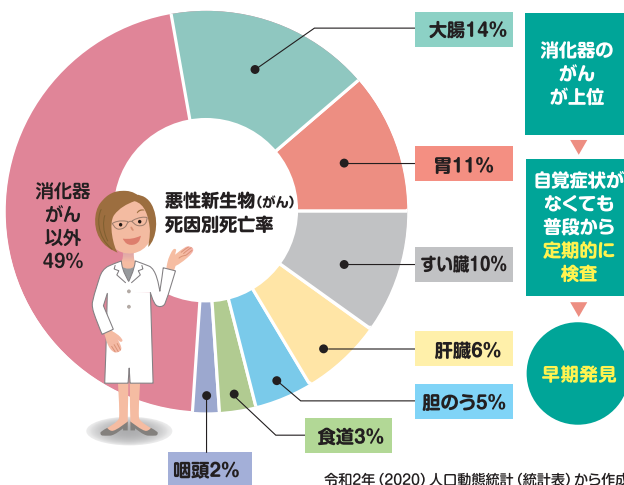
■ 2人に1人ががんに罹患する

日本人の死因の第1位はがんです。2人に1人が一生のうちに何らかのがんになるという統計もあり、がんは誰でもなりうる病気と言えます。

■ 消化器がんは死因の上位を占める

日本の死因第1位はがんですが、その中で消化器のがんは上位を占め、約半数にも及びます。一般的にがんを早期に発見することは、最適（根治性が高く、侵襲性が低い）な治療方法が選択でき、治療効果の向上に結びつきます。特に5年生存率の低い胆管がん、すい臓がんも、外科的切除可能な早期に発見することによって、予後の向上が期待できるため、がんの早期発見が重要な課題となっています。

悪性新生物（がん）死亡数の順位					
1位	2位	3位	4位	5位	6位
肺	大腸	胃	すい臓	肝臓	胆のう



■ 定期的な検査が重要

がんは早期に発見し治療を行うことが重要です。しかし、早期のがんでは症状を自覚しにくいことが往々にしてあります。そのため、自覚症状がなくても普段から定期的な検査を受け、早期発見につなげることがとても大切です。

早期発見のために



消化器がんの 早期リスク判定 テオリア検査™

がんは早期発見が重要です。テオリア検査™は、画像診断などで見つけにくい早期の消化器がんリスクを血液検査で判定できます。



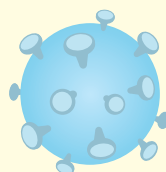
テオリア検査™とは

■ 「エクソソーム」を使った新しい検査

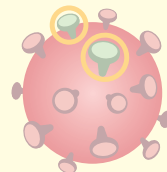
エクソソームは、細胞内の情報を運ぶ小さい袋のようなものです。その中の情報を読み取ることができ、細胞の状態を知ることができます。がん細胞はごく初期からがん細胞特有の情報を有しており、それを測定することにより、早い段階でその存在を知ることができます。

わずかな血液で判定 できます。

血液中から
がん特有の
エクソソームを
検出する



正常なエクソソーム



がんのエクソソーム

■ 現在の消化器がんの 罹患リスクを判定

現在、消化器がん罹患している可能性が高いかどうかを判定します。

■ より良い検査を目指しています

テオリア検査™は、様々な研究からがんのリスク判定の有効性を確認しておりますが、より良い検査となるよう、現在臨床症例を集め、順次データを反映し改善しつづけております。

テオリア検査™ の受け方



採血のみ

通常の検診と同様に、末梢静脈血を数mL採血するだけで検査ができます。



数mL採血で
検査が
できます。

テオリア検査™でわかること

エクソソーム由来の、消化器がんのリスクマーカーを測定します。健常人の平均と比べて高い場合は高リスク、同程度の場合は低リスクと解釈できます。

※テオリア検査™は保険適用外の検査です。この検査だけで診断することを目的としたものではありません。

高リスク
（健常人と比べて高い）

消化器がん罹患しているリスクが健常人と比べて現在高いことを示していますが、がん罹患しているとは限りません。

高リスクの場合、がん罹患している可能性が健常人よりも高いため、今後の健康管理につきまして、医師とよくご相談されることをお勧めいたします。



低リスク
（健常人と比べて同程度）

消化器がん罹患しているリスクが健常人と同程度であることを示していますが、まったくがん細胞が存在していないということではありません。

現在のリスクを調べる検査のため、定期的に検査を実施し、健康管理に役立てることをお勧めいたします。

